

10月25日(木) 18:30~

会場：静岡県評会議室



第134回定例研究会

だれでも参加できます

韓国労働運動等の調査(その1) 最低賃金と非正規雇用

報告：中澤 秀一 氏（静岡県立大学短期大学部 准教授）

これからの企画

◆第135回定例研究会

日時…11月15日(木)

午後6:30~

場所…静岡県評会議室

韓国労働運動等の調査(その2)

「ソウル市の労働政策」

林克氏 他

◆第136回定例研究会(予定)

日時…12月20日(木)

午後6:30~

場所…静岡県評会議室

進む韓国の労働運動と労働政策

今年の9月2日~5日にかけて、「韓国労働運動等の調査と交流の旅」ということで、静岡県労働研究所のメンバーを中心に韓国訪問を行いました。

事前の計画として、調査内容のポイントは、①最低賃金引き上げの運動、②非正規労働者・青年への対応、③労働運動と市民運動との連帯、④労働者教育・宣伝についてでした。

ガイドを務めて頂いた安周永氏(龍谷大学)に、訪問先との予約をお願いしました。今回訪問した所は、国会未来研究院、ソウル市労働政策課、ダサンコール労働組合、全国言論労働組合、全国学校非正規職労働組合、韓国非正規労働センター、韓国雇用情報院の7ヶ所でした。

韓国の進んだ労働政策や労働運動から学び、静岡県で、どのように生かしていけるかを検討します。